

佐賀中学校

『人間を大事に』

『自他ともに』

大切にすることができると

校長 谷 範浩

◆本校の概要

本校では『人間を大事に』を学校教育目標として、人権・『同和』教育を基本に据え、いじめや差別を許さない人としての生き方を大事にしなが、日々の授業や部活動に頑張っています。

◆本年度の重点的取組

本年度は、『Simplicity is our priority』簡素・簡単・簡潔』をテーマとして、校時表や今までの取組の見直しを行い、毎日が同じリズムで生活できるように工夫しました。

さらに、『ティームワーク』『ホームワーク』『ハードワーク』の3つのスローガンを定



一人暮らしのお年寄り訪問 (ボランティア活動)

め、『Team学校』『教師生徒の協同』『宿題の工夫』『家庭との協働』『授業改善』『家庭学習の充実』に取り組んでいます。

①月曜日に毎週朝礼を行い、生徒会活動の充実を図るとともに、土日の部活動の大会などの結果報告を行う時間を確保して、生徒の頑張りを共有することができるようになりました。

②全校合唱コンテストを行い、生徒の表現力を高めたり、自尊心・協働する姿勢を育てています。

③『コレ単コンテスト』を全校で実施し、英単語力の養成に取り組みとともに、『伝える・伝わるワーク』を学年共通の週末の宿題として、表現力や読み解く力の育成に全校で取り組んでいます。

④3年生を中心に、小学生への読み聞かせを本年度より行い、表現力の育成や小中連携にも取り組むようになりました。

◆カレッジウィーク

キャリア講演会の実施

夏休み当初に『キャリア講演会』を実施しました。日頃、なかなか聞けない話や、人権



キャリア講演会

コンサート、教職員の趣味や経験してきた話などを通して、『学ぶ意欲・学ぶ動機』に繋がればと考えています。

3日間の講演会では、初日が、『保護司』の活動・3人の若手実業家の話・高知県の国際交流員による韓国の中学校生活の紹介などがありました。2日目は、『ヒゲンジツシユギ』というバンドの人権コンサート、3日目がANAの客室乗務員の話や本校の橘先生のブログライターの話など、興味深い内容でした。

◆基礎学力の定着と充実

本校では、校内研究テーマを『自ら学ぶ力』を育てる指導方法の研究と考へ、かかわり、つながり、高まる、ユニバーサルデザインに基づいた授業づくりを通して、『基礎学力の定着と充実』

を推進するために、校内研修を充実させながら取り組んでいます。

左の表は、本年度4月当初に実施した標準学力調査における佐賀中学校の学力の状況です。表の通り1年生は、全教科にわたり全国平均を下回っており、厳しい状況にありましたが、特に理数系での課題が見られ、この1学期を通じてそれぞれの教科で学力向上に重点的に取り組んでいます。2年生は、数学が全国平均を上回っていますが、社会に課題が見られます。3年生は、英語が全国平均を上回ったものの社会科は2年生と同様の結果になりました。

学年や教科によって、それぞれ課題がありますが、基礎学力の定着を図り、学力を向

平成28年度標準学力調査結果

(全国を1とする)

	国語	社会	数学	理科	英語
1年	0.95	0.94	0.90	0.80	
2年	0.94	0.88	1.03	0.93	0.94
3年		0.89			1.02

◆防災教育

本年度も、『形成テスト』(5分間テスト)を継続させたり、家庭学習の充実、ホワイトボードを全生徒に配布し、授業で活用させながら、だれもが『わかる、できる』授業づくりを目指しています。

本年度から、生徒会活動の二環として、『防災委員』をつくりました。避難訓練をはじめ、さまざまな防災に関する取り組みを生徒が中心となって企画立案しています。今までは、教職員が中心に防災教育や避難訓練などを行っていましたが、生徒が行うことにより、自らの命を守るために『主体的に行動し、正しく判断できる力』を身に付けることができると考えています。



佐中祭

## 伊与喜小学校

『未来に生きる力を身に付けた  
児童の育成』をめざして

校長 濱田 俊二

### ◆はじめに

本年度は、2人の新入生を迎え、全児童数16人、完全複式の3学級編成でスタートしました。

本校は小規模校であり、保護者や地域の協力なくして学校教育は成り立ちません。まさに、学校、保護者、地域が三位一体となって取り組んでいる学校です。

本年度より学校教育目標を『未来に生きる力を身に付けた児童の育成』としました。21世紀、世の中の流れはめまぐるしく変化していきます。そんな中、自分の夢や希望に向けて学んでいける学校にしたいと考えています。

### ◆校内研修での取組

研究主題を「いよよく的に学び、よくがんばり、きぼうが持てる児童の育成」をキャリア教育の充実」と設定しました。

○確かな学力の定着  
○自分と仲間を見つめる力、

共感力の育成

○自分を守る、命を守る

この3つの柱を大きな軸として校内研修を進めています。

### 一、確かな学力の定着

#### ①授業改善

複式授業においては、自分たちだけで授業を進めていかなければならない時間があります。そういうなかで、自分たちだけでしっかり協議ができる授業を目指しています。

算数科では「予習」を基にした授業形態も進めています。自分の考えをしっかりと持てるよう「書く活動」を多くとり、また、キャリア教育の視点から、今、学んでいることが将来どういうことにつながっていくのかを意識させるような教育を進めたいと思っています。

#### ②読書活動

本校は読書活動にも力を入れています。スローガンは、「いつでも、どこでも、読書生活」です。毎日の図書館通い、家庭読書、すき間読書、月2回のロング読書などさまざまな形で本に親しんでいます。図書室も第1図書室、第2図書室、第3図書室、廊下図書室とどこでも本が読めるようにしています。



#### ③放課後学習

「その日の学習は、その日のうちに」をモットーに、着実な学習の定着を図っています。低学年はランクルームで、高学年は校長室

で週3日学習しています。子どもたちは、当たり前のように通ってきたくれます。  
\*下記の表は4月の標準学力調査の結果です。

科目	割合
国語	1.05
算数	1.01
理科	0.96

### 二、自分と仲間を見つめる力、

#### 共感力の育成

自尊感情を高め、自分も他人も大切にできる児童に育てほしいと思っています。また、自分の夢や希望、目標を

持ち、それに向けて頑張れる子どもたちを育てたいと思います。そのためにも、人権教育や道徳教育、キャリア教育の充実を図っていきます。

縦割り班での給食準備、掃除活動など少ない人数でよくできています。やんちゃもありますが、とてもかわいい子どもたちです。伊与喜家の子どもたちはいつも一緒に活動しています。

### 三、自分を守る、命を守る

自分の生活や健康、体力にしっかり目を向け、自己管理や努力ができることを目指しています。毎日の朝運動や全校遊び、生活調べなどを行っています。また、災害に対する備えも大切です。町の方針に沿っての防災学習、避難訓練をしっかりと行います。いつ災害が起こるかわかりませんが、しっかりと判断のできる人間になってほしいと思っています。

### ◆伊与喜家の子どもたち

子どもたちは朝早く集団登校し、毎日朝運動をしています。これは本校の伝統の1つでもあります。自分たちで準備をし、自分たちで行っています。昼休みや放課後は、児童会を中心に、みんなで遊ぶようにしています。

授業開始のチャイムが鳴るとすぐ教室に入ります。授業態度もよく、訪問や参観された方からよくほめてもらいます。いろんなところで本を読

### ◆学校―保護者―地域の三位一体での活動

本校の最大の特徴は、学校、地域、保護者の三位一体での活動です。学校だけでは成り立たない行事がたくさんあります。地域や保護者の協力があつてこそ、学校教育が成り立っています。子どもたちは、教室での学習とともに、いろいろな行事からも学びます。それを支えてくれているのが保護者であり地域の方々です。



田植え、愛校作業、カレーバッチリ大作戦、稲刈り、盆踊り大会、運動会、収穫祭、6年生を送る会などたくさん活動が保護者、地域の協力で行われています。